

福島県県立病院改革プラン取組状況報告書（概要版）

H23.8.3 福島県病院局

【改革プランの本目標】

『地域に必要とされる質の高い医療の提供』と『病院経営の健全化』

【改革プランの収支目標】

目標 1：単年度赤字の漸次解消を図り、平成 25 年度までに収支均衡

目標 2：平成 23 年度までに不良債務の解消

『県立病院の在り方』、『行動計画に掲げる 10 の数値目標』、『全体の収支計画』に対する自己評価の結果は、以下のとおりです。

I 県立病院の在り方

() 内は前年度自己評価

病院名	果たすべき役割	平成 22 年度の取組	評価
矢吹病院	・民間病院では処遇困難な患者の受入などの精神医療の提供	◇措置入院患者の受入 (3 人→7 人) ◇デイケア活動の充実 (3,790 人→3,846 人) ◇臨床研修医等の受入 (5 人→7 人) ◇医療観察法に基づく指定入院医療機関の指定、児童思春期外来の実施、精神障がい者アウトリーチ型医療についての検討	4 (3)
会津医療センター (仮称) 喜多方病院 会津総合病院	・診療、教育、研究の 3 つの機能を柱とする ・地域医療の確保や人材の育成等の拠点と位置づける	◇建築・設備工事着手 (22 年 11 月) ◇準備室教授 9 人を先行配置 (会津) ◇血液内科開設 (会津) (22 年 4 月) ◇健診業務充実 (喜多方) (3,179→3,275 件) ◇市民公開講座の実施 (会津) 2 回 ◇チーム医療の推進 (会津) 新加算取得	4 (4)
宮下病院	・へき地における医療提供	◇国保診療所等へ診療応援 (285 日→296 日) ◇訪問診療 57 件・訪問看護 42 件の実施 ◇後発医薬品の積極的採用 (17.6%→23.8%) ◇出前講座の実施 (23 回) ◇研修医や学生の受入 (31 人→34 人)	4 (3)
南会津病院	・へき地における医療提供	◇国保診療所等への診療応援 (28 回) ◇透析設備の充実 (12 台→19 台) ◇健康診断の充実 (788 件→799 件) ◇地域医療セミナー実施 (22 年 11 月)	4 (3)
大野病院	・医療拠点としての中核的機能 ・二次救急医療へ対応	◇J A 双葉厚生病院との統合に向けた基本協定を締結 (22 年 7 月) ◇統合に向けた着実な整備を実施 ◇多目的医療用ヘリのテストフライト実施 ◇地域医療機関向け ^{さだんかい} 瑣談会実施 (22 年 11 月) ◇原発事故の影響で統合の延期申し合わせ	4 (4)

II 行動計画

基本方針	評価項目	平成22年度				平成21年度			
		目標値	実績値	定量評価	定性評価	目標値	実績値	定量評価	定性評価
1 良質な医療サービスの提供									
(1) 医療の質の向上	—			—	5			—	4
(2) 患者サービスの向上	患者満足度	80%以上	75.1%	4	3	76%以上	77.4%	5	3
2 健全な病院経営									
(1) 収益の確保	経常収支比率	88%以上	88.7%	5	3	86%以上	87.3%	5	3
(2) 未収金の発生防止等	過年度末未収金額	90百万以下	82百万	5	3	93百万以下	88百万	5	3
(3) 費用の見直し	職員給与比率	92%以下	98.4%	2	3	97%以下	106.9%	2	3
3 医療体制の充実強化									
(1) 診療体制・経営基盤の強化	常勤医師数	67人以上	64人	4	4	57人以上	58人	5	4
(2) 医療安全対策の強化	医療安全研修参加率	90%以上	66.6%	3	4	85%以上	76.1%	3	4
4 職員の資質向上と人材育成									
(1) 人材の育成と確保	資格取得者支援	20人以上	13人	2	3	20人以上	38人	5	3
(2) 職員の意識改革	職員提案数	155件以上	115件	3	3	140件以上	105件	3	3
5 地域との連携・共生									
(1) 地域医療機関等との連携	紹介率	19%以上	17.2%	4	4	18%以上	16.7%	3	4
	病床利用率	59%以上	52.2%			54%以上	47.6%		
(2) 県民への情報提供	—			—	4			—	2

* 自己評価基準

目標値達成状況の自己評価(定量的評価)		取組状況の自己評価(定性的評価)	
【5】	目標値を上回った。達成度100%以上120%未満	【5】	極めて積極的に行われている。
【4】	目標値を達成できた。達成度90%以上100%未満	【4】	積極的に行われている。
【3】	目標値をほぼ達成できた。達成度70%以上90%未満	【3】	取り組んでいる。
【2】	目標値を下回った。達成度50%以上70%未満	【2】	消極的である。
【1】	目標値を大きく下回った。達成度50%未満	【1】	実施に至っていない。

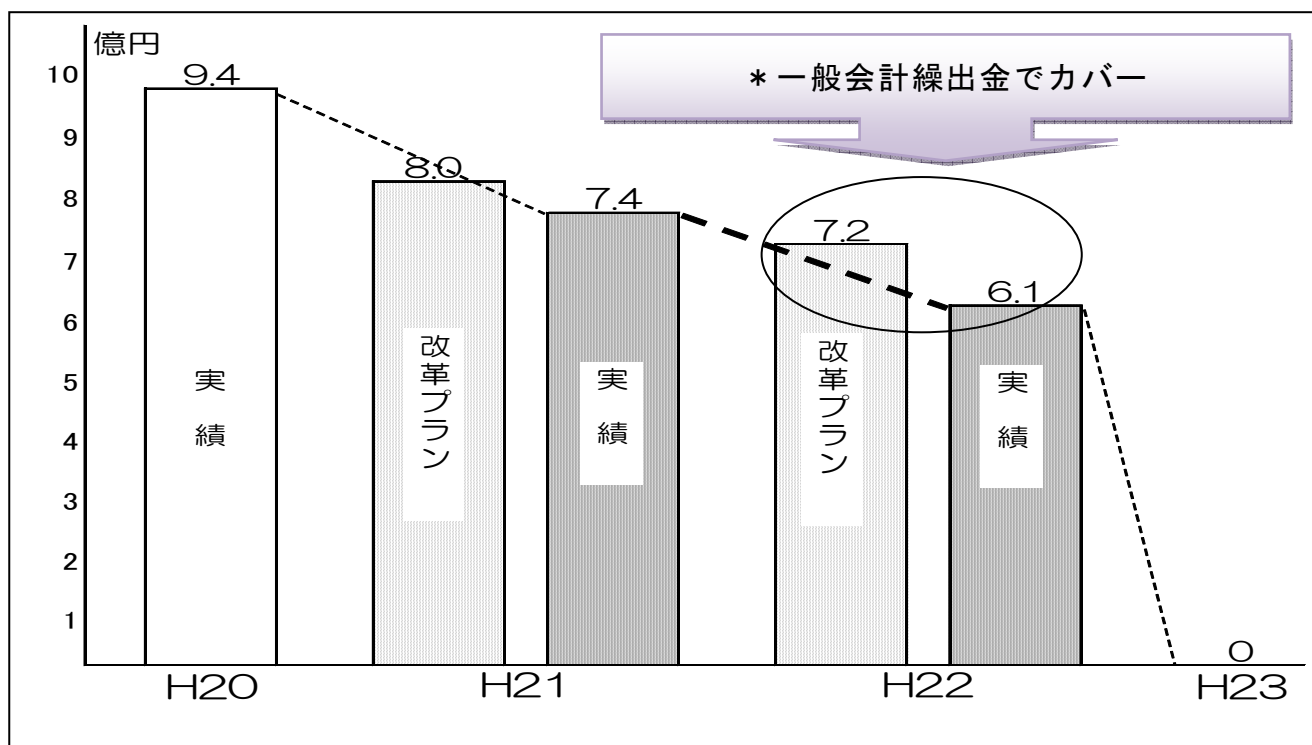
Ⅲ 全体の収支計画

○目標1の現状（純損益）

（単位：百万円）

項目	平成22年度 実績	平成22年度 計画	平成21年度 実績	定量 評価	定性 評価		
医業収益	7,556	8,394	7,578				
うち入院収益	4,371	5,337	4,038				
うち外来収益	2,084	2,099	2,063				
うち一般会計繰入	898	761	1,283				
医業外収益	4,039	3,203	4,134				
うち一般会計繰入	3,997	3,175	4,102				
医業費用	12,629	12,600	12,956				
うち給与費	7,746	7,691	8,345				
医業外費用	445	483	457				
純損益	▲1,468	▲1,454	▲1,734				
不良債務	610	721	743				
経常収支比率	88.7%	88.6%	87.3%			5	4
給与費対医業収益比率	102.5%	91.6%	110.1%			2	3
うち一般病院	98.4%	86.5%	106.9%				
病床利用率	52.2%	59%以上	47.6%	3	3		

○目標2の現状（不良債務）



IV 県立病院事業評価委員会からの助言を踏まえた取組結果

助言 1：収益確保・医業費用の引き下げの積極的な取組み

- ① 医師確保による地域に必要とされる医療の提供（58人→64人）
- ② DPC導入による質の高い医療（会津総合病院 出来高比較1.1億円増収）
- ③ 病診連携強化による地域連携と患者確保（紹介率16.7%→17.2%）
- ④ 健診業務の充実による患者確保（72百万円収益確保）
- ⑤ 新施設基準取得とチーム医療の推進（栄養サポートチーム・呼吸ケアチーム）
- ⑥ 未利用財産（職員公舎）の売却（26百万円収益確保）
- ⑦ 職員数の適正管理（平成22年度実績▲40人）

○助言 2：取組事項の具体的記載と定量的把握による前年比較

- ① 行動計画は、具体的な取組事項を網羅し、平成20年度から定量的に比較
- ② 県立病院の経営指標を定量的にわかりやすく把握できるように一覧表で整理
- ③ 会津医療センター（仮称）整備、大野病院と双葉厚生病院との統合について、重点的取組として位置付け
- ④ 市民公開講座、地域医療セミナー、出前講座など地域との交流事業を実施

○助言 3：本来求められた成果の検証と計画の見直し

- ① 各病院の果たすべき役割とそれに伴う行動計画について毎年自己評価を行い、経営評価委員会の二次評価により、成果を検証
- ② 改革プラン全体は5年間、行動計画は3年間となっていることから、計画と実態が大きくかけ離れた事項は、弾力的に見直しを実施
- ③ 震災の影響により統合が延期になった大野病院の統合については、今後の復興計画と合わせて検討

○助言 4：目的を持った医師確保と地域完結型医療体制の構築

- ① 南会津地域ニーズへの対応（入院が可能となるよう常勤の小児科医2名確保、高齢者医療に必要な非常勤の泌尿器科医の確保）
- ② 会津圏内の医療機関との役割分担と連携強化により『地域完結型医療』の提供を図るため、会津医療センター（仮称）を整備

○助言 5：職員の意識改革と経営参画、県立病院の姿を地域住民へ周知

- ① 病院機能評価の継続取得による業務改善、資格取得による自己研鑽、課題・目標管理の設定による、職員一人ひとりの病院経営に対する参画意識の醸成
- ② 矢吹病院の児童思春期外来の開設など、地域にとって必要な医療の提供の展開
- ③ 自ら企画した院外広報誌、市民公開講座、出前講座による積極的な情報発信